

群馬県都市緑化祭  
ふるさとキラキラフェスティバル  
花と緑のぐんまづくり  
2013 in 伊勢崎

『ふるさとキラキラフェスティバル 花と緑のぐんまづくり 2013 in 伊勢崎』が2013年4月20日から5月19日の日程で開催されました。

伊勢崎市がふるキラに立候補したという話を聞いたのが約2年前、まだまだ先だと思っていましたが、2月頃から慌ただしくなりあれよあれよという間に、前橋市から資材が持ち込まれ、準備が始まりました。

メイン会場の波志江沼環境ふれあい公園、サテライト会場である華蔵寺公園・伊勢崎市中心市街地などでは、各社の作業員がテキパキと動きだし県職員、市職員、ボランティア、また地元の住民の方々と一丸になって作業にあたっていました。

そのかいもあって29万人もの来場者が訪れました。

皆様本当にお疲れ様でした。

来年の沼田市の成功を願って。

(有久保田造園・久保田洋宣)



ホリデーインまえばし

8月25日(日)に『敷島に笑顔の花咲くホリデーインまえばし』をメインテーマに「第39回ホリデーインまえばし」が盛大に行われました。

群造協青年部は今年の実行委員長を輩出し積極的に参加しました。

ホリデーインまえばしは、子供たちが自然と親しみながら成長できる機会を提供することを目的として、敷島公園で多種多様な参加団体が協力し合いながら毎年実施しています。

活動内容は、開催前は定期的な全体

会議への出席・打合せを行い、開催時はステージ部会員に所属してイベントの準備・撤収作業の中心的な役割を担いました。

担当ブースは、「竹を使ったおもちゃ作り」と題し、竹馬を子供たちに200組作ってもらいました。天候にも恵まれ順番待ちの長蛇の列が出来ました。多くの方に「毎年楽しみにしています。」と声を掛けていただけました。真摯に取り組む事で、造園業という職業、群造協青年部の存在が認知されて来たからだと思います。

今後さらに努力してPRを行いたいと思います。

(株英造園・町田 伸行)



関東四県  
公園緑地連絡協議会

平成25年9月20日埼玉副都心の会場で行われる関東四県公園緑地連絡協議会に参加して参りました。

まず、はじめは視察ということで、さいたま市にある『大宮盆栽美術館』を拝観しました。

世界で初めての『盆栽美術館』で平成22年に開館しました。名高い大宮の盆栽村に近接して設けられ、旧高木盆栽美術館のコレクションをひとつの核とした名品、優品をはじめ盆器や各種の歴史・民俗資料等が展示されており、改めて盆栽の魅力を再認識しました。

協議会では、埼玉県副支部長より『都市公園における景観と居心地の良さについて』の講演発表。大きくなり

過ぎた高木を間引き、視界を遮る低木を撤去、日の光を地面に充てることによって、裸地から芝生や地被類に変わり非常に心地の良い緑地空間にリニューアルされ、公園利用者からの高評価を頂いた旨の発表でした。

協議としては、街路樹管理経費・街路樹伐採・有資格者について各支部より現状報告があり、各市町村により認識のバラツキがあり、どのように今後行政に投げかけてゆくかが検討課題となりました。

(前橋園芸株・中村敬太郎)

みどりの清掃



10月12日(土)、第19回みどりの清掃活動が、開催されました。

今回は、「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～」の2014年開催地である沼田市にて、ボランティア活動として、沼田公園のゴミ拾い、市道の枯木撤去等を行いました。

協会からは約60名が参加し、ボランティア活動を通じての地域貢献や緑化への関心を高める事が出来ました。

また、同日に沼田公園にて沼田市主催の「秋の大感謝祭」という大きなイベントもあり、「花と緑のぐんまづくり」のチラシを配布させて頂き、来年の沼田市での開催を積極的にPRしました。

また、清掃活動後には、同イベントを楽しみ、家族の絆を深めました。チラシ作成や、ゴミ処理等では、県や沼田市に多大なるご協力を頂き、無事に清掃活動を完了することが出来ました。次回は第20回という節目の回になりますが、協会員、関係各位のご協力を頂き、緑化活動への関心を高める意味でも、継続して活動していきたいと思えます。(株中村造園・中村 一博)



安全衛生大会



本年度の安全衛生大会を、8月21日(水)群馬県造園団体協議会の共催により開催致しました。ご来賓として、群馬労働局長・県土整備部都市計画課長・建設業労働災害防止協会群馬県支部長をお招きし、「造園業における災害は脚立・はしごによる、墜落・転落が多いので、特に注意して作業してほしい」とのご挨拶がありました。

安全衛生講話では、「建設労働災害防止について」をテーマとして、吉田 架設 株式会社・吉田知弘氏より過去の職人達から学ぶ安全意識と対策について、現代の建設現場に於ける災害防止に置き換えて説明して頂きました。

続いて衛生講話では、県立県民健康科学大学・関根正氏より「職場ストレスと対処法」について、ご自身の体験談をもとに、ストレスをマネジメントする事の必要性をわかりやすく講和して頂きました。

協議会員のゼロ災害を誓う「安全宣言」にて、本日の大会を終了しました。  
(熊倉造園土木(株)・熊倉 幹夫)



勢多農林高校  
インターンシップ受入



7月、10月、及び11月に、勢多農林高校生徒のインターンシップ(職場体験)を受入れました(各3日間)。

例年は緑地土木科の2年生のみでしたが、今年は同科の1年生、2年生を3期に分けて受入れてほしいとの学校からの要請があり、前橋市内の協会員全社にて迎え入れました。

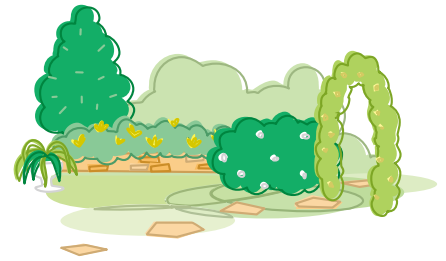
造園の授業を受けているとはいえ、公共緑地や個人宅のお庭は、彼らにしてみれば今まではただの「風景」だったかもしれません。しかし今回それらを創る、あるいは維持管理する側の立場に立ったことで、同じ風景の中にこれまでとは違った何かを感じてもらえ

るきっかけになったのではないのでしょうか。

当協会としても、若い人に我々の業界の仕事を経験してもらえる良い機会でした。

緑地土木科の皆さん、慣れない作業でしたがお疲れさまでした。

(株)小泉農園・小泉 雄作



平成25年  
表彰

<p>◆4月29日 <b>旭日双光章</b> 専門工事業振興功労 株式会社 しみづ農園 代表取締役 会長 <b>清水 一也</b></p>	<p>◆5月17日 <b>群馬県総合表彰</b> 株式会社 共栄緑化 代表取締役 <b>須永 敏明</b></p>	<p>◆10月28日 <b>群馬県功労者表彰</b> 山梅造園土木株式会社 代表取締役 <b>山田 忠雄</b></p>	<p>11月26日 <b>群馬県優秀技能者</b> 表彰 多野造園土木株式会社 代表取締役 <b>田中 広幸</b></p>
---	---	--	--

5月4日(土)「みどりの日」群馬県緑化センター主催による「みどりの集い」が邑楽町のおうら創造の森にて開催されました。

当日は、苗木の無料配布や樹木医による緑化相談、ガーデニング教室やしゅる縄の結び方教室、きのこの展示等各種団体による様々なブースが展開されました。特に苗木の無料配布には長蛇の列ができるなど来場者の緑に対する関心の高さが伺えました。

当協会では東毛支部が中心となり毎年恒例とな

5/4  
(土)  
みどりの集い

っている子ども達を対象とした金魚すくい及び草花の種の無料配布を行いました。

緑化センターには様々な種類の樹木が植えられており、見本庭園があるなど、色々楽しめる場所です。緑には空気の浄化作用や安らぎ、憩い等多くの効果があります。

「みどりの集い」をきっかけに一人でも多くの方に緑に関心を持って頂きたいと思います。

(有)君島造園・君島 静夫